

真宗総合研究所

◇「真宗学事研究」研究会

* 十二月十四日(金)

「日本近世における民衆教育の性格」

関西大学教授

津田秀夫氏

* 三月十四日(木)

香月院深励師略年譜考 江上浄信研究員

学事資料における歴史意識 鈴木幹雄研究員

公巖年譜について 若槻俊秀研究員

◇「海外仏教研究」研究会

二月二十日(水)

「インド仏教における一切智の概念の発達」

客員研究員 Alexander NAUGHTON 氏

◇研究所委員会

三月十九日(火)

議題

一、昭和六十年年度「指定研究」研究計画について

◇「海外仏教研究」全体会議

三月二十五日(月)

議題

一、昭和五十九年度研究事業の報告

真宗学会

◇真宗学会研究会例

十二月四日(火) 午後四時

於 第一研究室分室

一 悲願の開闢

―「方便化身土巻本」の構造―

特別研修員 加来 雄之

◇真宗学会研究会反省会

二月十六日(土) 午後二時

於 第一研究室

仏教学会

◇公開講演会

十二月六日(木) 午後三時

於 尋源講堂

講師 高野山大学教授

氏家寛勝氏

講題 毘盧遮那仏の説法

長崎学会会長を初め多数の教員、学生が出席した。終了後、第一研究室分室一に於いて座談会が開かれ、活発な質疑応答、意見交換がなされた。

交換がなされた。

◇卒論修論梗概発表会

一月十七日(木) 午後四時

於 尋源館三一〇二教室

〈発表者〉

修論 六名 卒論 二十八名

引続き学内食堂に於いて懇親会が行なわれ、多数の教員、学生が参加し、盛会であった。

◇白土わか教授退職記念講演会

一月二十二日(火) 午後三時半

於 尋源講堂

講師 本学教授 白土わか氏

講題 日本天台への道―出会いと創造―

記念講演会終了後、六時より萬葉軒に於いて白土教授を囲んで懇親会が開かれ、先生の永年の御苦勞をねぎらうとともに、今後の益々の御活躍を念じた。

◇西洋哲学・倫理学会公開講演会

十二月十一日(火) 二時半より

於 尋源講堂

西洋哲学会

倫理学会

於 尋源講堂

於 尋源講堂

於 尋源講堂

於 尋源講堂

於 尋源講堂

「ニヒリズムと空の思想」

京都大学助教授 有福孝岳氏
出席者教員、学生二百余名。

宗 教 学 会

◇宗教学会公開講演会

一月十八日(金) 一時半より

於 三一〇三教室

「宗教的問いの起源」

京都大学教授 水垣 涉氏

出席者 大屋教授、武田教授、堀尾助教、築山助手ほか教員、学生五十名余り。
宗教学の根本問題をめぐって熱心な質疑応答が交わされた。

教 育 学 会

◇公開講演会

十二月十三日(木) 於 尋源講堂

講師 田中圭治助教授

講題 「ハワイにおける教育事情」

出席者 大井・大竹両教授、佐々木・土戸両講師、平岡特研員・他、学生約八十名。
講師は、ハワイの教育制度について、多くのスライドを用いて語られた。また講演

会後の座談会の席でも、学生達との間に熱心な質疑応答が交わされた。

国 史 学 会

◇国史学会秋季大会

十二月六日(木) 午後一時三十分

於 一四〇五教室

公開講演

「祖先崇拜と幕藩制イデオロギー」

本学教授 大桑 斉氏

「中世古文書学の課題」

摂南大学教授
文学博士 上島 有氏

出席 堅田教授、大桑教授、豊島専任講師、木場助手。院生四名、学部生四十名。他分野学生および一般聴講二十名。

◇史蹟踏査

十二月八日(土) 午後一時

京阪伏見稲荷駅集合。伏見稲荷大社参拝の後、奥の院命婦社を経て稲荷山頂の上社・中社・下社の三社を巡る稲荷山一周を行ない、三社の成立とお塚信仰を中心に、稲荷信仰の発生や展開について実地に踏査した。学生諸氏には後日、「稲荷信仰について」というテーマのレポートの提出が課された。

れた。

引率指導 豊島専任講師。参加 木場助手 院生二名、学部生十名。

日本仏教史学会

◇二回生一夜研修会

十月一日(月) 二日(火)

於 愛宕山大鷲峯月輪寺

参加 佐々木(令) 専任講師、学生九名。

◇公開講演会

十二月十八日(木) 三時

於 尋源講堂

「日蓮宗研究の今・昔」

京都府立大学教授 藤井 学氏

参加 北西・名畑・大桑教授、佐々木(令) 専任講師、藤原特別研修員、院生・学生等四十名。

◇卒業生歓送会

二月五日(火) 六時

於 清水順正

参加 北西・名畑・大桑教授、佐々木(令) 専任講師、藤原特別研修員、院生・学生四十名。

◇二回生一夜研修会

於 奈良飛火野莊
参加||佐々木(令)専任講師、学生九名。

東洋史学会

東洋仏教史学会

◇東洋史学会 研究発表会
東洋仏教史学会

十二月十四日(金) 午後四時十分～
於 一一〇二教室

近世ベトナム仏教界と広州海幢寺

大西和彦特別研修員

金明昌元年建「西京普恩寺重修釈迦如来成

道碑」について 桂華淳祥助手

野上俊静名誉教授、藤原教授、藤島教

授、滋賀教授、安藤助教授、大内専任講

師をはじめ院生、学生五十余名が参加し、

発表後活発に意見の交換がなされた。

◇中国史蹟研究旅行

三月三日(日)～十五日(金)

大内専任講師の引率の許に、東洋史専

攻学生を中心として「大谷大学中国史蹟

参観団」を組織し、余寒いまだ厳しき中、

各地の史蹟を踏査し、各自大きな成果を

挙げて無事帰国した。

訪問地——上海・蘇州・南京・鄭州・

鞏県・洛陽・西安・北京方面
近く報告会開催の予定。

国文学会

◇『文芸論叢』第二十四号発行

(掲載論文目次)

『出定後語』標註

『宇治拾遺物語』主人公の職業

「六月風」土屋文明の歌風に就いて(二)

近世の唱導論書 有田静昭

——『説法式要』巻一—— 後小路薫

我仏山人著作目録 中島利郎

〈資料紹介〉 北村朋典

親鸞六百年忌法楽和歌 (A5判 八一頁)

中国文学会

◇卒業論文中間発表会

十二月二日(日)～十二月三日(月)

於 周山の府立ゼミナールハウス

参加||平野教授、河内教授、若槻助教授、

院生・学部生計三十六名。

北山の静かな雰囲気の中で、夜遅くまで
熱心な発表と質疑応答がなされ、四回生は
もとより、二、三回生の参加もみられた。

◇中国文学会学術公開講演会

一月十八日(金) 午後一時より

於 尋源講堂

(講題) たにし妻

元早稲田大学教授文学博士 沢田瑞穂氏

平野・河内両教授、若槻助教授の他、院

生・学部生及び一般来聴の方など多数の出

席を得て盛会裡に終る。

◇碩学の話を聞く会(本学会協賛)

三月二十八日(木) 午後一時半より

於 尋源講堂

(講題) 書学五十年

京都市立芸術大学名誉教授 中田勇次郎氏

英文学会

◇大谷大学英文学会研究発表会

十二月十日(日) 午後四時二十分より

於 尋源館三一〇三教室

〈題目〉

英文学と音声学——グベリナ博士の講演と

関連して—— 内藤史朗氏

英国の外国語教育——エセックスでの見聞から——
市橋弘道氏

東西の接触——サリンジャーと東洋思想——
多田 稔

出席者——多田・内藤両教授、市橋・鈴木
両助教授、榎原講師、三神特別研修員、学
生約五十名。

◇『英文学会会報』第十二号発刊

目次

J. D. Salinger: Zoology 論考 多田 稔
英国の中等教育における外国語教育——
エセックスでの調査から—— 市橋弘道
一九八四年度卒業予定者と卒業論文題目
研究室だより

(A5版 二四頁)

短期仏教科

◇「仏教研究紀要」第七号発刊

〈目次〉

生成する魂への目覚めを 広瀬 晃
新しい世界の発見を願って 古田和弘
卒業研究要旨
卒業研究

短期国文科

◇紀要 第七号刊行

昨年度にひき続き、「大谷大学短期大学
学部国文科紀要第七号」を、三月十日に刊
行した。

(全文掲載論文)

『行人』の研究

「狐女房」譯考

額田王考

中勘助の『銀の匙』について

今川貴実子
小椋 浩子
武村 佳子
牧 玲子

右四篇の秀作に、全員の論文要旨を各八
百字で掲載した。

(B5版、一二二頁)

幼児教育科

◇仏教保育総合研修会

十二月二十一日(金)午前九時～

二十二日(土)正午 (一泊)

於 大谷婦人会館(烏丸六条西入)
研修テーマ……仏教保育の諸問題

——保育と儀式・儀礼——

目的……仏教保育を理念と実践の両側面か
ら研修する。

参加者……幼児教育科在學生、関係教職員
第一日目

本学短期大学部長・小野蓮明先生の導師
によって開会。午前中は仏教保育の現状を、
スライド、ビデオ及び二回生の模擬保育実
演によって学習。午後は和歌山大学助教授
宮西照夫先生による「メキシコ・マヤにみ
る子どもの生活と宗教儀礼」と題する基調
講演、及びグループ別学習(座談会)。

第二日目

本山農朝参拝。グループ別学習、全体会。
◇『卒業研究』第十八集発刊。

卒業生全八十五名の『卒業研究』レポー
トの要旨を各自約千三百字で掲載。